

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善																	
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)									H30年度			R1年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			H30年度			R1年度			H30年度			R1年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価										
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率					事業評価	評価の理由	R3年度予算要求の方向性	所屬長評価								
保健医療体制の充実	伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金	市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するためには、救急医療や高度医療に対応できる医療環境の充実がもたられている。 このため、市民病院と有田共立病院の統合により、西部保健医療圏の中核となる病院を整備しており、安定した運営のため両市町から負担金を支出している。	医療福祉組合への運営負担金支出	回	1	1	100%	1	1	100%	医療福祉組合への運営負担金支出	回	1	1	100%	1	1	100%	265,518	259,626	259,586	なし	病院事業に必要な経費の負担である。負担金の額が経務省の繰出し基準に変更されたことに伴い平成30年度より増額となっている。	なし	病院事業に必要な経費の負担であり、削減の余地はない。	維持	病院の収支改善計画で継続的な負担金の支出が計画されている。	病院の収支改善計画に基づいた負担金を支出する必要があり、現状を維持する。	維持	地域医療を支える医療福祉組合が行う病院事業に対する負担金を維持する。				
保健医療体制の充実	国民健康保険レセプト点検事業	医療費の適正化を図るため、診療報酬明細書(レセプト)の点検を専門業者へ委託する。	レセプト点検効果率	%	0.60	0.28	47%	0.60	0.40	67%	レセプト点検委託料	千円	2,646	2,657	100%	2,705	2,655	98%	2,834	2,766	2,708	低	県内でも同水準の点検を行っており、充分なレベルに達しているものと思われる。	なし	佐賀県国保となったことから、県内市町全部が国保連合会に委託することとなり、単価は決まっているため、削減の余地はない。	維持	国保連合会に委託するため、現状を維持する。	例年並みを要求する	維持	医療費適正化のため、事業を維持する必要がある。				
保健医療体制の充実	国民健康保険健康意識啓発事業	国民健康保険事業の被保険者の健康の保持増進のため、保険事業(医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知・重複頻回受診者訪問指導)を実施する。	医療費通知件数	件	23,000	22,026	96%	21,879	21,564	99%	ジェネリック医薬品の年間使用割合	%	72.7	77.4	106%	78.9	79.5	101%	9,094	8,539	7,808	なし	医療費通知により一定の健康意識の向上に役立っており、成果向上の余地はない。	低	通知回数を減らせばコスト削減につながるが、短時間で通知したほうが知らせる機会を多く確保できるため、削減の余地はない。	維持	健康意識の高揚と医療費適正化のため、現状を維持する。	例年並みを要求する	維持	健康意識の高揚と医療費適正化を図るため、持続して事業を実施する必要がある。				
保健医療体制の充実	国民健康保険人間ドック・脳ドック事業	平成7年度から伊万里市国保被保険者の健康保持増進、疾病の早期発見・早期治療を目的に実施。 日帰り人間ドック・脳ドック受診希望者に対し、受診前に申請を受け、費用を助成する。	医師会への委託料(人間ドック)	千円	1,763	1,625	92%	1,767	1,664	94%	受診者数(人間ドック)	人	150	138	92%	150	140	93%	2,519	3,046	2,381	なし	人間ドックについては、生活習慣病の早期発見が望まれるため、成果向上の余地はない。	なし	委託料は2年に一度改定される診療報酬点数に基づいて決められるため削減の余地はない。	維持	療養給付費の抑制のため、現状を維持する。	例年並みを要求する	維持	人間ドック・脳ドック事業は、疾病の早期発見・早期治療、医療費抑制の効果が期待できることから、事業を維持する必要がある。				
保健医療体制の充実	国民健康保険はり・灸施術費助成事業	昭和43年度から伊万里市国保被保険者の健康保持増進を目的に実施。 施術希望者は助成券を申請し、890円の補助を受け受診することができる。	はり・灸施術費助成回数	件	1,700	1,325	78%	1,500	1,694	113%	はり・灸施術助成額	千円	1,513	1,179	78%	1,335	1,508	113%	1,179	1,602	1,508	なし	希望者全員が受診できている。	なし	補助額を下げれば利用者の減につながるおそれがあるため。	維持	はり・灸の施術により、保険者の保険給付費が抑えられている。	例年並みを要求する	維持	健康保持増進・保険給付費の抑制が期待できることから、事業を維持する必要がある。				
保健医療体制の充実	後期高齢者医療人間ドック・脳ドック事業	後期高齢者医療制度の施行に伴い、高齢者の健康保持増進、疾病の早期発見・早期治療を目的に実施。 日帰り人間ドック・脳ドック受診希望者に対し、受診前に申請を受け、費用を助成する。	医師会への委託料(人間ドック)	千円	564	395	70%	354	335	95%	受診者数(人間ドック)	人	30	21	70%	34	32	94%	831	356	335	なし	人間ドックについては、生活習慣病の早期発見が望まれるため、成果向上の余地はない。	なし	委託料は2年に一度改定される診療報酬点数に基づいて決められるため削減の余地はない。	廃止	後期高齢者医療広域連合からの補助金が廃止されることから事業を廃止する。	事業廃止に伴い、予算要求を行わない。	廃止	補助金の廃止に伴い、事業継続は無理があるため廃止する。				
保健医療体制の充実	後期高齢者医療はり・灸施術費助成事業	後期高齢者医療制度の施行に伴い、高齢者の福祉増進及び健康保持を目的に実施。 施術希望者は助成券を申請し、890円の補助を受け受診することができる。	はり・灸施術費助成回数	件	1,520	1,422	94%	1,650	1,518	92%	はり・灸施術助成額	千円	1,353	1,266	94%	1,469	1,352	92%	1,269	1,475	1,354	なし	希望者全員が受診できている。	なし	補助額を下げれば利用者の減につながるおそれがあるため。	維持	後期高齢者医療の運営上、維持する必要がある。	例年並みを要求する	維持	高齢者の健康維持推進のため、維持する必要がある。				